

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和4年度 5月号



メダルもらったよ!

御前崎小学校をつくるのは御前崎小の子どもたちです

4月号で「子どもたちが学校づくりに参画する機会を増やしたい」と書きました。「自分一人が何か言っても、どうせ世の中は変わらない」という小さな絶望が、投票率の低さに表れていると、私は感じています。

だからこそ暗いニュースが多い中でも、子どもたちには、自分が社会をつくる大切な一人だという実感を抱いて成長してほしいと、強く願うこの頃です。

授業や学級を通して、大小さまざまな「自分の言動で、物事が良い方向へ変わる」経験を積んできた御前崎小の子どもたちです。今年は、運動会への取り組みの中で、これまで以上に、子どもたちの参画意識を高めたいと考えています。

自分たちでつくる運動会 学年種目は何にしようか？

学年種目は、ねらいに合致する競技を複数提案し、学年の成長段階に応じ、子どもたち自身が自分ごととして考えられる機会をもちました。

6年生は一足早く、朝のリレー練習が始まっていました。「リレーに決まったの？」と尋ねると、「みんなで話し合っ、大なわは体育の授業でも取り組むことになりました」と明快な回答が帰ってきました。1年生でも、デカパンリレーか折り返しリレーか、ちゃんと理由をつけて考えている子がたくさんいました。どちらに決まったとしても、価値ある話し合いです。また、ある朝は、3年生が「運動会のために走って来ます。」と言って運動場へ駆けていきました。

コロナ前のように、ご家族全員で応援に来ていただくようなにぎやかな会は望めません。でも、子どもたちの主体的な動き、PTA 役員さんたちの「できることは言ってください」の声、こんなににぎやかなのに、見守ってくださるご近所のみなさんなど、支えられての運動会です。

自分たちでつくる運動会 スローガン決定は対話を通して

今年のスローガンも、キーワードを持ち寄り、足し算型で行われました。昨年よりさらに進んだのは、出されたキーワードを組み合わせ、みんなでスローガン候補を作り、その中から一つに絞るところまで実現できたことです。

昨年度の成功体験が着実に積みあがっているのを感じました。

決まったスローガンは「196人 心を燃やして本気で取り組む運動会」です。すてきです。



食欲もりもりのアカウミガメ エサ代寄付ありがとうございました。

昨年度は旺盛すぎる食欲で、エサ代が足りなくなり、四苦八苦させられました。その話を受けて、市内観光施設で募金箱を置いてくださっていたそうです。さっそくありがたく使わせていただきました。カメさんたちが大好きなコウナゴ（ちょっとお高い）が3袋も買えました。ありがとうございました。

今年も大きく育っているので放流は6月に計画しています。

(アカウミガメには、安いアミエビの方をたくさん食べてほしい校長 仁平美和子)

